

*Library Tokyo  
Nagoya University  
July 1992*

長良川河口堰にかかわる  
治水計画の技術評価

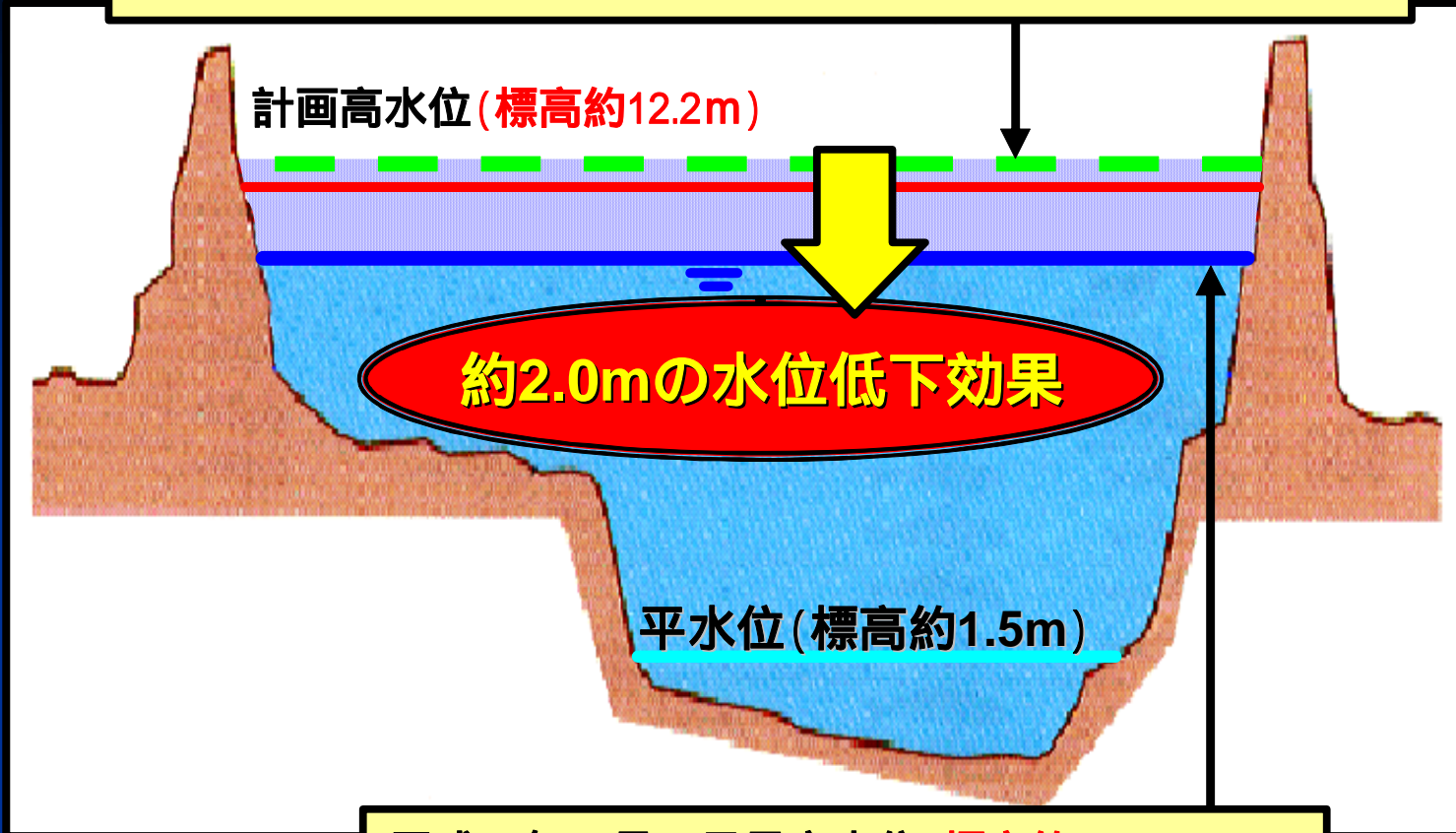
1992年7月

土木学会社会資本問題研究委員会

土木学会



昭和45年当時の断面における推定の最高水位 (標高約12.6m)



平成16年10月21日最高水位 (標高約10.6m)

年月日	出水要因	墨俣地点最大流量	ピーク水位低下量
平成11年9月15日	台風18号	約5,900m <sup>3</sup> /s	約1.1m
平成12年9月12日	台風14号	約4,900m <sup>3</sup> /s	約1.2m
平成14年7月10日	台風6号	約4,400m <sup>3</sup> /s	約1.6m
平成16年10月21日	台風23号	約8,000m <sup>3</sup> /s	約2.0m



もし、常時  
河口堰を開門したら

塩水の遡上、塩害



目に見えない場  
での地下水の塩  
水化

より大きな問題を

- ・河川の疎通能力を上げる

浚渫

- ・塩害を止める河口堰

- ・河口堰 と 河床の浚渫

は不可分

## なお 安全度の低い長良川

平成19年度 河川整備基本方針でも  
1/100の安全度にされ、河川の負担  
は8300m<sup>3</sup>/secとなった

全国と同程度の河川(1/150)に比べて、  
まだ低い安全度





明治改修  
完成100周年(来年)  
河川空間の拡大

後に大きな可能性を

史價金五銭

